



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月5日

上場会社名 西川ゴム工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5161 URL <http://www.nishikawa-rbr.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西川 正洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 福岡 美朝 TEL (082) 237-9371  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	12,843	38.9	1,130	—	1,504	—	984	—
22年3月期第1四半期	9,249	△36.0	△107	—	△121	—	△275	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	50	.27	50	.24
22年3月期第1四半期	△14	.10	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭
23年3月期第1四半期	65,589		38,123		57.9	1,940	.85
22年3月期	64,318		37,511		58.1	1,909	.87

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 37,992百万円 22年3月期 37,386百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	7.00	—	10.00	17.00	—
23年3月期	—	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00	—

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	26,000	26.8	2,400	270.2	3,000	223.4	1,900	24.9	97	.06
通期	51,600	9.9	4,500	25.9	5,500	33.5	3,700	△9.1	189	.01

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他〔(注)詳細は、3ページ 2. その他の情報をご覧ください。〕

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無  
新規 一社 ( )、除外 一社 ( )

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

23年3月期1Q	19,995,387株	22年3月期	19,995,387株
23年3月期1Q	419,961株	22年3月期	419,763株
23年3月期1Q	19,575,491株	22年3月期1Q	19,559,719株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注意事項)

- ・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、アジア向け輸出が堅調に推移するなど一部で景気回復の兆しが見られるものの、雇用情勢や所得環境は依然として厳しく、個人消費の低迷や円高・株安および原油価格上昇の傾向が強まるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

自動車部品業界におきましては、世界的な需要減退の影響により大きく落ち込んだ前年同期を大幅に上回って推移いたしました。

この結果、当第1四半期における売上高は128億43百万円（前年同期比38.9%増）となりました。利益につきましては、西川ゴムグループ総コスト低減活動を推し進めた結果、営業利益は11億30百万円（前年同期は営業損失1億7百万円）、経常利益は15億4百万円（前年同期は経常損失1億21百万円）、四半期純利益は9億84百万円（前年同期は四半期純損失2億75百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (自動車用部品)

世界的な自動車生産台数の増加が大きく影響し、売上高は119億80百万円となり、営業利益は10億83百万円となりました。

#### (一般産業資材)

住宅着工戸数および土木事業などの増加により、一般産業資材の大きな需要増加となった結果、売上高は8億63百万円となり、営業利益は47百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ12億70百万円増加し655億89百万円となりました。主な増加は現金及び預金などであり、主な減少は投資有価証券および機械装置及び運搬具などです。負債は、前連結会計年度末に比べ6億58百万円増加し274億65百万円となりました。主な増加は資産除去債務などであり、主な減少は賞与引当金などです。また、純資産は前連結会計年度末に比べ6億12百万円増加し381億23百万円となりました。主な増加は四半期純利益の計上などによる利益剰余金および為替換算調整勘定などであり、主な減少はその他有価証券評価差額金などです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、最新の経済状況を踏まえ修正しております。詳細は、本日公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ②繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断にあたり、前連結会計年度末の検討において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ①資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計期基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これにより、営業利益および経常利益はそれぞれ4百万円、税金等調整前四半期純利益は2億57百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は3億62百万円であります。

#### ②表示方法等の変更

当第1四半期連結累計期間より、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づき、「財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令」（内閣府令第5号 平成21年3月24日）の適用に伴い、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,101	15,450
受取手形及び売掛金	12,399	12,516
製品	1,316	1,396
仕掛品	941	943
原材料及び貯蔵品	865	783
繰延税金資産	570	686
その他	787	715
貸倒引当金	△3	△7
流動資産合計	33,979	32,484
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,135	6,096
機械装置及び運搬具（純額）	7,802	8,035
その他（純額）	5,585	5,482
有形固定資産合計	19,522	19,615
無形固定資産	767	759
投資その他の資産		
投資有価証券	9,978	10,385
繰延税金資産	752	476
その他	596	603
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	11,320	11,459
固定資産合計	31,610	31,833
資産合計	65,589	64,318

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,637	6,609
短期借入金	5,548	5,544
未払法人税等	81	146
賞与引当金	444	834
製品保証引当金	50	71
その他	3,293	2,580
流動負債合計	16,054	15,787
固定負債		
長期借入金	8,050	8,065
退職給付引当金	2,225	2,233
役員退職慰労引当金	374	360
負ののれん	76	81
その他	684	279
固定負債合計	11,411	11,019
負債合計	27,465	26,807
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,364	3,364
資本剰余金	3,660	3,660
利益剰余金	32,743	31,955
自己株式	△427	△427
株主資本合計	39,340	38,552
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	733	1,120
為替換算調整勘定	△2,081	△2,286
評価・換算差額等合計	△1,347	△1,165
新株予約権	10	10
少数株主持分	119	113
純資産合計	38,123	37,511
負債純資産合計	65,589	64,318

## (2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	9,249	12,843
売上原価	8,015	10,100
売上総利益	1,233	2,742
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	473	642
給料及び賞与	278	284
その他	588	684
販売費及び一般管理費合計	1,341	1,611
営業利益又は営業損失(△)	△107	1,130
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	38	34
負ののれん償却額	4	5
持分法による投資利益	—	420
為替差益	53	—
その他	52	33
営業外収益合計	154	498
営業外費用		
支払利息	52	47
固定資産除却損	45	24
為替差損	—	42
持分法による投資損失	37	—
その他	31	9
営業外費用合計	168	124
経常利益又は経常損失(△)	△121	1,504
特別利益		
貸倒引当金戻入額	0	4
特別利益合計	0	4
特別損失		
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	3	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	252
特別損失合計	5	252
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△127	1,255
法人税、住民税及び事業税	8	140
法人税等還付税額	△112	—
法人税等調整額	250	127
法人税等合計	147	268
少数株主損益調整前四半期純利益	—	987
少数株主利益	1	3
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△275	984

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△127	1,255
減価償却費	997	871
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	252
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△4
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△45	△7
受取利息及び受取配当金	△44	△39
支払利息	52	47
為替差損益(△は益)	△53	10
持分法による投資損益(△は益)	37	△420
固定資産除却損	49	24
固定資産売却損益(△は益)	1	0
売上債権の増減額(△は増加)	△303	116
たな卸資産の増減額(△は増加)	67	0
仕入債務の増減額(△は減少)	△416	38
その他	513	101
小計	731	2,250
利息及び配当金の受取額	44	254
利息の支払額	△51	△50
法人税等の支払額	△115	△242
法人税等の還付額	97	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	705	2,212
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△0	—
定期預金の払戻による収入	2	—
有形固定資産の取得による支出	△1,018	△397
有形固定資産の売却による収入	1	3
無形固定資産の取得による支出	△14	△18
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
貸付金の回収による収入	5	3
その他	△0	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,027	△417
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,050	600
短期借入金の返済による支出	△1,065	△615
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△117	△195
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△133	△210
現金及び現金同等物に係る換算差額	31	41
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△424	1,626
現金及び現金同等物の期首残高	9,856	9,872
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,432	11,499

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

区分	自動車用部品 (百万円)	一般産業資材 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	8,509	739	9,249	—	9,249
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	8,509	739	9,249	(—)	9,249
営業損失(△)	△67	△39	△107	(—)	△107

## 【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

区分	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	7,622	1,400	226	9,249	—	9,249
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	339	8	2	350	(350)	—
計	7,961	1,409	228	9,600	(350)	9,249
営業利益又は営業損失(△)	△221	115	△16	△122	14	△107

## 【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	1,378	536	1,915
II 連結売上高(百万円)			9,249
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	14.9	5.8	20.7

## 【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に営業本部を置き、取り扱う製品・サービスについて国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は営業本部が取り扱う製品・サービス別のセグメントから構成されており、「自動車用部品」および「一般産業資材」の2つを報告セグメントとしております。

「自動車用部品」は、ゴム・樹脂シール製品(ドアシール、ドリップシール、トランクシール、ウェザーストリップガラスラン、ガスケット)および内外装製品(ドアオープニングトリム、外装モール、ウィンドモール、ドアホールシール)等を生産・販売しております。

「一般産業資材」は、住宅用外壁目地材、化粧用パフ、マンホール用ジョイントシール材、医療用ゴム製品等を生産・販売しております。

## 2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位:百万円)

	自動車用部品	一般産業資材	計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	11,980	863	12,843	—	12,843
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	11,980	863	12,843	(—)	12,843
セグメント利益(注)	1,083	47	1,130	(—)	1,130

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。